KBCM AI 実務実践研修 カリキュラム
生成 AI・データ活用による業務プロセス設計



研修名:AI 実務実践研修
実施主体: Knowledge Booth Consulting 株式会社 M(略称:KBCM)
実施形態:対面型・集合研修／全 5 回
実施期間:2026 年 12 月 14 日～18 日
開催時間:各日 13:00～17:20(休憩 20 分)／全 5 日
実訓練時間:20 時間(4 時間×5 日、休憩合計 100 分を除く)
開催会場:東京都中央区日本橋本町 4-15-1 タカコービル 5 階 TEL 03-6825-1160 / FAX 03-5652-540
受講料:400,000 円 / 名
対象者:AI・Knowledge 基礎研修を受講した者(受講対象職務・資格要件は別途確認)
到達目標:教材ケースを用いて、業務工程・データ項目の定義、AI 処理仕様の作成、人と AI の役割分担、例外処理、精度評価・再テストを実施し、結果と判断根拠を説明できる。

研修の位置づけ

AI・Knowledge 基礎研修の修了者を対象に、DX 関連業務で必要となる業務分析、データ構造化、AI 処理設計、出力検証の知識・技能を習得する。架空企業・模擬データ等の教育用教材を使用し、受講者個人の技能形成を目的とする。経営改善コンサルティングや自社の本番用導入計画の策定は行わない。

Day 1 / DX 業務分析とデータ構造化の基礎

到達目標:業務を工程に分解し、AI 処理に必要なデータ条件を整理できる。

時刻	課題	内容	指導方法	成果物・評価
13:00～13:30	DX における業務分析手法	デジタル化と処理設計の違い、業務目的と出力の関係、管理負荷・属人化の見方	講義	実習記録・講師確認
13:30～14:30	業務工程の可視化実習	架空企業の受注から入金までを、入力・処理・判断・出力に分解	講義・演習	実習記録・講師確認
14:30～14:40	休憩	学習時間に含めない	休憩	—
14:40～15:10	データ定義と品質確認	項目名、識別番号、データ型、欠損、重複、表記ゆれ	講義	実習記録・講師確認
15:10～16:10	データ構造化実習	模擬帳票・業務記録から項目定義表を作成し、問題データを検出	個人演習	実習記録・講師確認
16:10～16:20	休憩	学習時間に含めない	休憩	—
16:20～16:40	分析結果の検証	工程の抜け、入力不足、例外条件を講師と確認	講師レビュー	実習記録・講師確認
16:40～17:20	個人演習・解説	別の短い教材ケースで工程分解とデータ定義を実施	個人演習・解説	業務工程図、データ項目定義表、品質確認記録

当日の成果物:業務工程図、データ項目定義表、品質確認記録
技能確認:業務を工程に分解し、AI 処理に必要なデータ条件を整理できる。 講師が成果物・演習過程・説明内容を確認する。

Day 2 /生成 AI による情報抽出・分類・構造化

到達目標:条件と形式を指定した AI 処理仕様を設計・修正できる。

時刻	課題	内容	指導方法	成果物・評価
13:00～13:30	AI 処理仕様の設計	入力範囲、指示、制約、出力形式、根拠、不明情報の扱い	講義	実習記録・講師確認
13:30～14:30	情報抽出実習	模擬の注文依頼文から商品・数量・納期等を抽出し、表形式に構造化	実践演習	実習記録・講師確認
14:30～14:40	休憩	学習時間に含めない	休憩	—
14:40～15:10	分類基準と例外処理	分類の境界、複数条件、判断不能、根拠のない補完を防ぐ指示	講義	実習記録・講師確認
15:10～16:10	分類・要約実習	模擬問い合わせを分類し、根拠と対応確認事項を出力	実践演習	実習記録・講師確認
16:10～16:20	休憩	学習時間に含めない	休憩	—
16:20～16:40	出力比較と誤り分析	指示の違いによる結果の比較、誤抽出の原因整理	比較・解説	実習記録・講師確認
16:40～17:20	処理仕様の修正実習	テスト結果から条件を修正し、別データで再検証	修正演習	AI 処理仕様書、抽出・分類結果、修正前後の比較記録

当日の成果物:AI 処理仕様書、抽出・分類結果、修正前後の比較記録
技能確認:条件と形式を指定した AI 処理仕様を設計・修正できる。 講師が成果物・演習過程・説明内容を確認する。

Day 3 / AIと人を組み合わせた業務処理フロー設計

到達目標:人の判断・外部処理・AI 処理を区別し、例外対応を設計できる。

時刻	課題	内容	指導方法	成果物・評価
13:00～13:30	処理分担と責任の設計	社内判断、外部実行、AI 処理の違い、承認・検証工程	講義	実習記録・講師確認
13:30～14:30	処理フロー設計実習	教材ケースを、受付・構造化・照合・確認・出力に分解	設計演習	実習記録・講師確認
14:30～14:40	休憩	学習時間に含めない	休憩	—
14:40～15:10	データ連携と照合条件	CSV 等の受渡し、項目対応、照合キー、不一致条件、記録	講義	実習記録・講師確認
15:10～16:10	模擬データによる照合実習	受注・請求・入金データを照合し、不一致候補を抽出。数値照合と AI による説明を使い分ける	実践演習	実習記録・講師確認
16:10～16:20	休憩	学習時間に含めない	休憩	—
16:20～16:40	例外・停止条件の検討	不明データ、重複、金額不一致等の差戻し先を整理	講義・討議	実習記録・講師確認
16:40～17:20	個人のフロー修正実習	人の確認、外部受渡し、手作業への切替をフローに反映	個人演習	処理フロー、工程別役割表、例外対応表

当日の成果物:処理フロー、工程別役割表、例外対応表

技能確認:人の判断・外部処理・AI 処理を区別し、例外対応を設計できる。 講師が成果物・演習過程・説明内容を確認する。

Day 4 / AI 処理の品質評価と安全な運用設計

到達目標:正解データとの比較により品質評価・誤り分析・再テストができる。

時刻	課題	内容	指導方法	成果物・評価
13:00～13:30	テスト設計と評価指標	正解データ、正常・異常ケース、抽出正解率、見落とし、修正時間	講義	実習記録・講師確認
13:30～14:30	精度評価実習	共通テストデータで検証し、誤りの種類と原因を記録	実践演習	実習記録・講師確認
14:30～14:40	休憩	学習時間に含めない	休憩	—
14:40～15:10	情報管理と異常時対応	入力情報の選別、権限、出力の確認、処理記録、停止・再実行	講義	実習記録・講師確認
15:10～16:10	総合課題実習	講師指定の教材ケースで、処理仕様・フロー・評価方法を組み合わせる	総合演習	実習記録・講師確認
16:10～16:20	休憩	学習時間に含めない	休憩	—
16:20～16:40	講師による技能確認	判断条件、未解決の誤り、検証方法を確認	講師評価	実習記録・講師確認
16:40～17:20	修正・説明資料作成	検証結果に基づき実習成果物を修正し、実技発表資料を作成	修正演習	テスト仕様・評価結果、誤り分析表、総合課題成果物

当日の成果物:テスト仕様・評価結果、誤り分析表、総合課題成果物

技能確認:正解データとの比較により品質評価・誤り分析・再テストができる。 講師が成果物・演習過程・説明内容を確認する。

Day 5 /総合実技演習・各自の技能発表

到達目標:分析・処理設計・検証技能を実演し、判断根拠を説明できる。

時刻	課題	内容	指導方法	成果物・評価
13:00～13:30	技能確認課題	追加の模擬データを処理し、結果と判断根拠を記録	実技演習	実習記録・講師確認
13:30～14:30	個人実技発表・前半	各組最大 5 名。1 人 12 分で実演・説明と技能に関する質疑	個人発表・質疑	実習記録・講師確認
14:30～14:40	休憩	学習時間に含めない	休憩	—
14:40～15:40	個人実技発表・後半	各組最大 5 名。同じ評価基準で確認	個人発表・質疑	実習記録・講師確認
15:40～16:10	共通エラーの解説・再演習	発表で確認された誤りを題材に、講師が解説し各自修正	解説・再演習	実習記録・講師確認
16:10～16:20	休憩	学習時間に含めない	休憩	—
16:20～17:00	指定条件変更への対応演習	項目追加・分類条件変更等に合わせ、処理仕様とテストを修正	条件変更演習	実習記録・講師確認
17:00～17:20	理解度確認・解説	知識確認と技能上の注意点を整理	理解度確認	個人別実技評価記録、修正済み実習成果物、理解度確認結果

当日の成果物:個人別実技評価記録、修正済み実習成果物、理解度確認結果

技能確認:分析・処理設計・検証技能を実演し、判断根拠を説明できる。 講師が成果物・演習過程・説明内容を確認する。

※研修で使用する PC について ： 本研修では、実際の業務を想定した演習を行うため、原則として日頃の担当業務で使用されている PC をご持参ください。
研修の実施にあたっては、情報セキュリティおよび機密情報の取扱いに十分配慮いたします。
社内規程等により PC の社外持ち出しが難しい場合は、事前にお申し出ください。研修用 PC を貸与いたします。